

アンケート回答者の偏りが調査結果に与える影響について

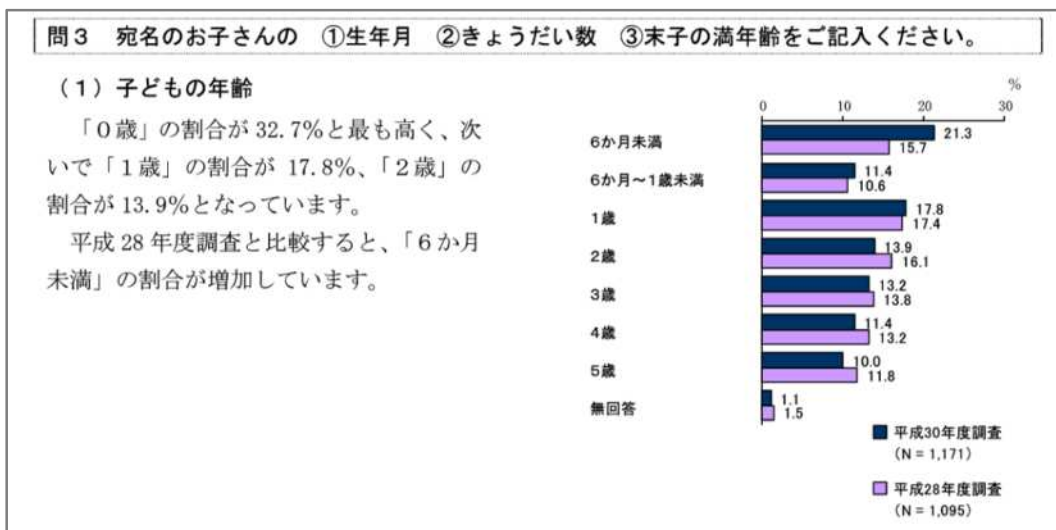
1 主旨

平成 30 年度「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査」について、前回調査（平成 28 年度実施）と比較し、「就学前の子どもの保護者」対象の回答者に偏りが生じていた。このことが調査結果に与える影響を考察する。

2 経緯

第 4 回墨田区子ども・子育て会議（平成 31 年 1 月 11 日開催）において、「就学前の子どもの保護者」調査結果の問 3「子どもの年齢」（報告書 3 ページ下段）について、子どもの年齢を「6 か月未満」と回答した方が、前回と比較して 5.6%高くなっている。（その他は±2%程度。）また、問 30「子育て支援事業（認知度）」（報告書 52 ページ）の認知度について、前回と比較して全体的に減少傾向にある。

これらのことから、子どもの年齢を「6 か月未満」と回答した方の増加によって、認知度への影響があったのではないのか。また、影響があるとすれば人数補正等のデータの見直しが必要なのではないかと疑義が生じたため、これを検証する。



3 検証方法

(1) レーダーチャートの作成

ア 前回と今回の調査結果における「回答者の子どもの年齢」のレーダーチャートを作成する。（これを【基準】とする。）

イ 前回と今回の調査結果における「回答者の子どもの年齢 子育て支援事業（認知度）」のクロス集計結果のレーダーチャートを作成する。

(2) レーダーチャートの比較

レーダーチャートの形状を比較する。

- ア 【基準】と同様の形状の場合 回答者の偏りが、調査結果に影響している。
- イ 【基準】と異なる形状の場合 回答者の偏りが、調査結果に影響していない。

4 検証結果

- (1) 各レーダーチャート(別添参照)を確認すると、概ね【基準】と異なる形状を示していた。
- (2) 個々のクロス集計結果のレーダーチャートは、概ね前回調査結果と同様の形状を示していた。

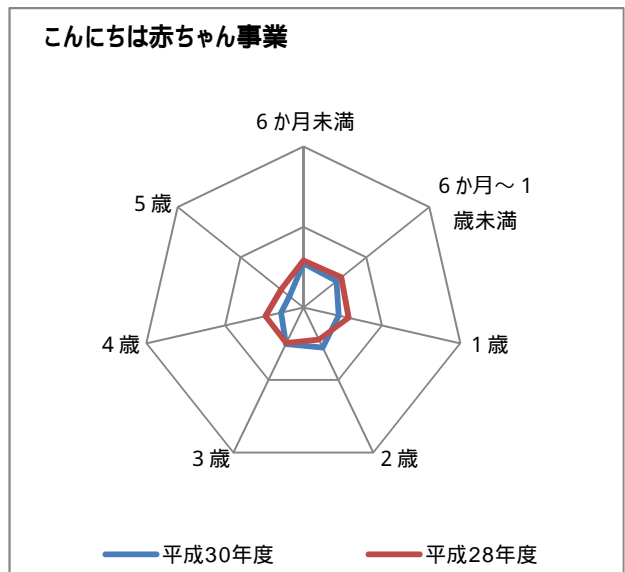
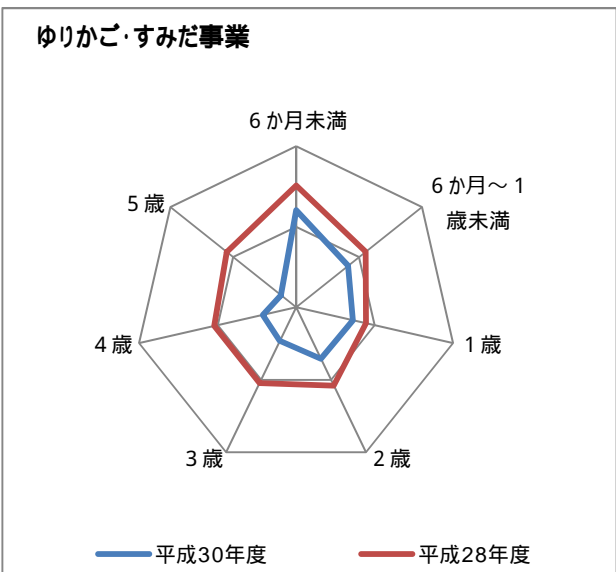
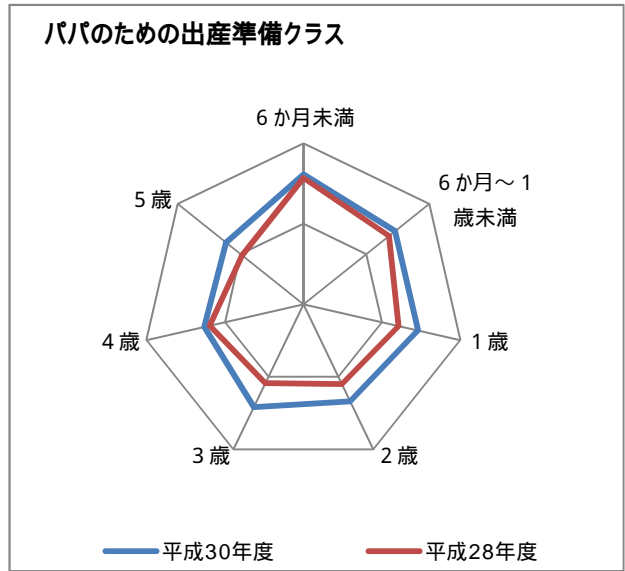
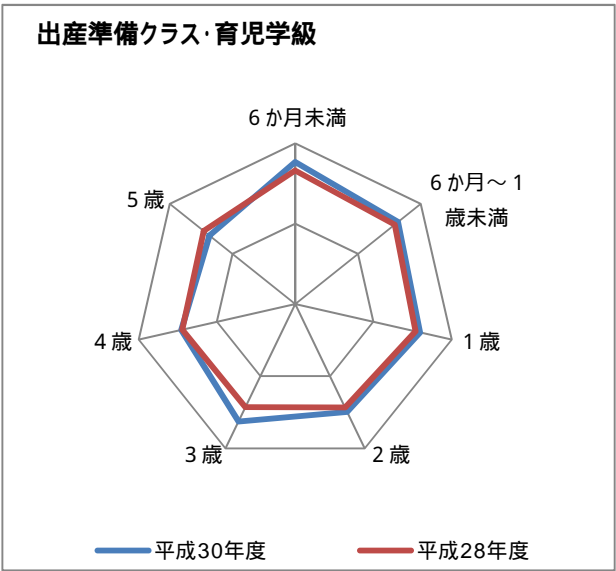
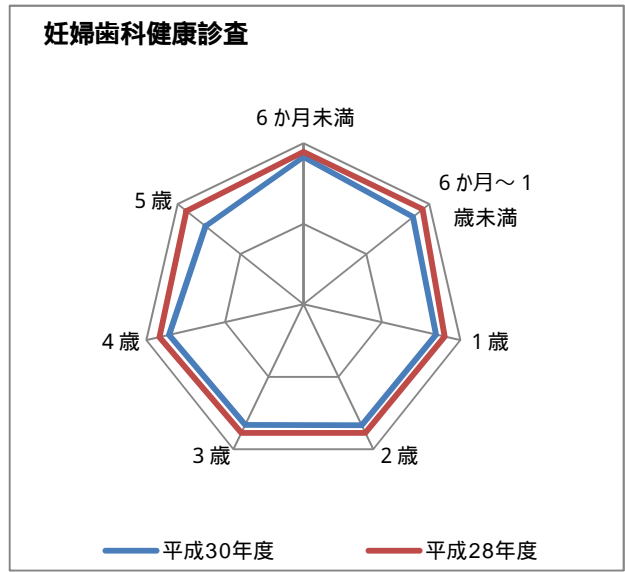
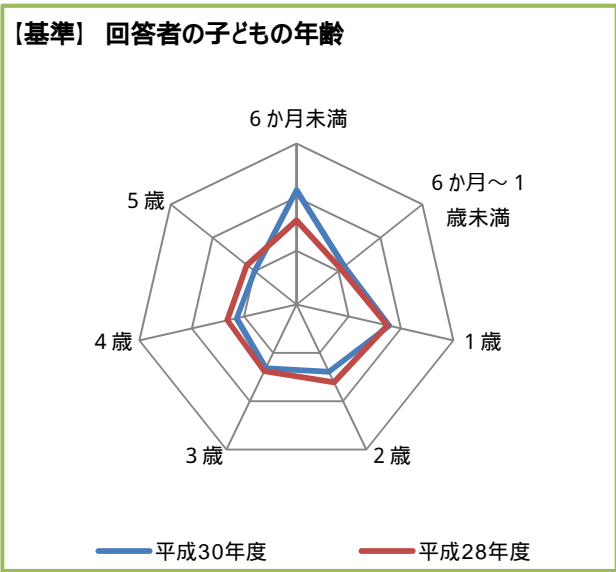
5 考察

子どもの年齢を「6か月未満」と回答した方が多いことによって、調査結果に影響を及ぼしていないと考えられる。また、レーダーチャートの形状から、子どもの各年齢層における認知度は前回調査時と概ね同様の傾向にあると考えられる。

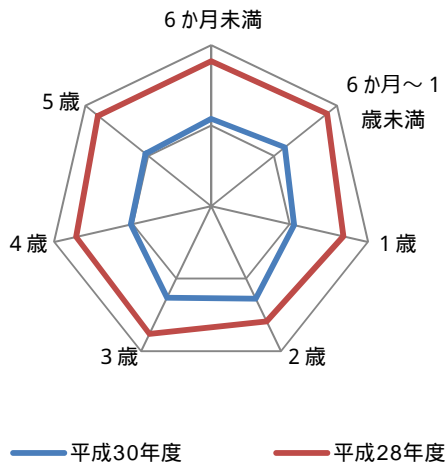
しかしながら、子育て支援事業の認知度が減少していることに変わりなく、周知等の検討が課題である。

参考として、前回と今回の調査実施時点における、0~6歳人口についても比較したが、同様の傾向であった。

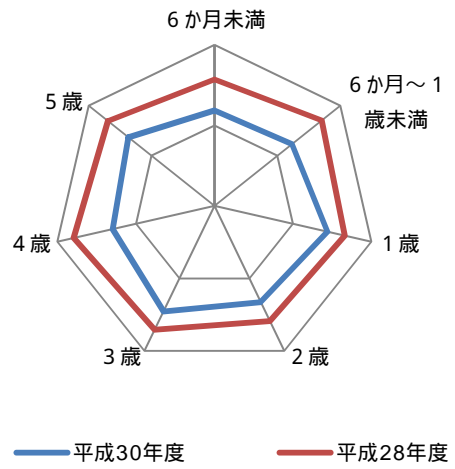
レーダーチャート



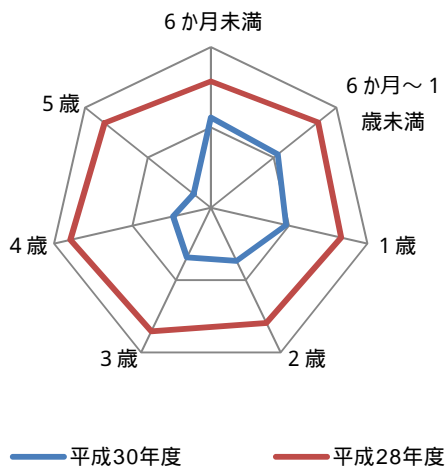
育児相談、子育て講座



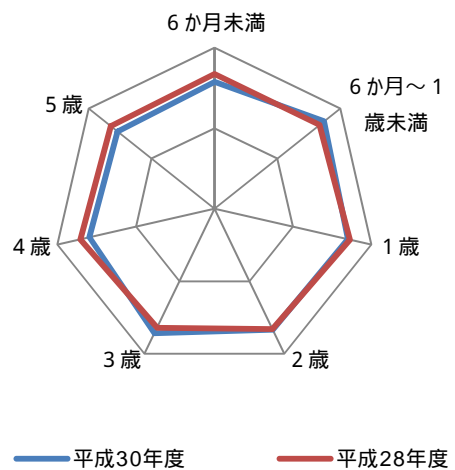
赤ちゃん休けいスポット



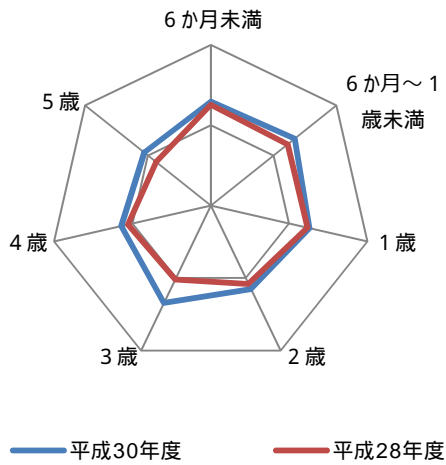
保育コンシェルジュ



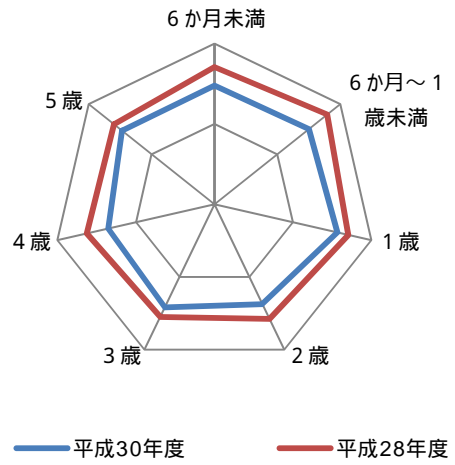
一時保育



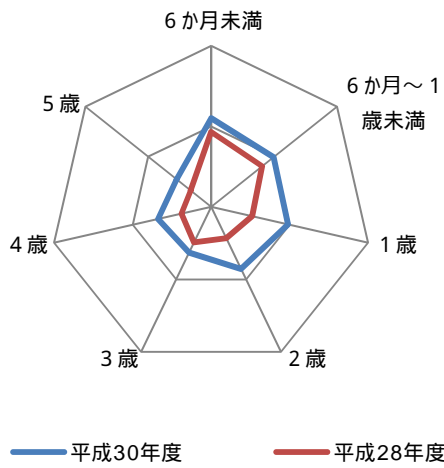
Hug



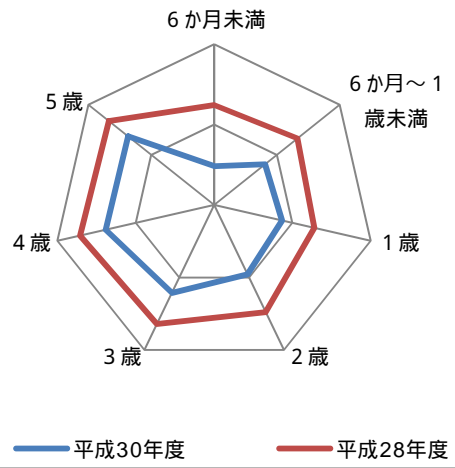
子育てガイドブック



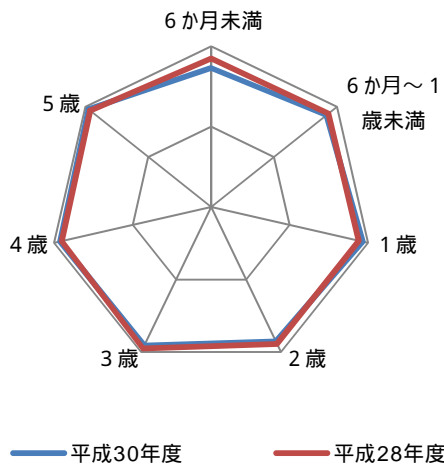
子育てアプリ



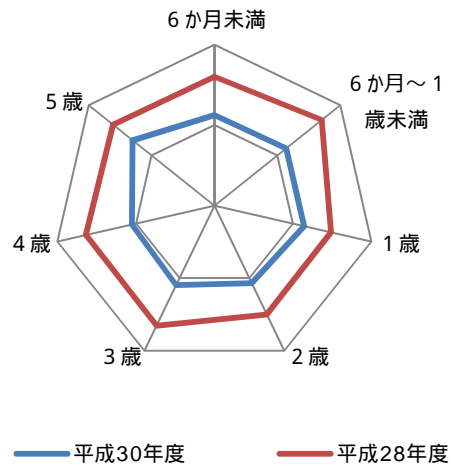
安全・安心メール



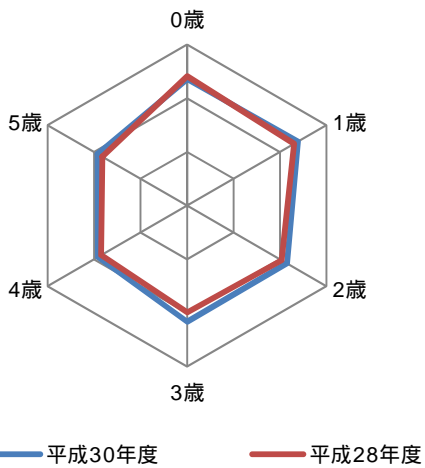
児童館・コミュニティ会館



子育て支援総合センター



参考 墨田区内人口



区内人口

	平成28年時	平成30年時
0歳	2,411	2,357
1歳	2,304	2,387
2歳	2,033	2,150
3歳	1,993	2,164
4歳	1,849	1,922
5歳	1,824	1,928